

シスメックス株式会社

1968年創業。東亜医用電子株式会社として発足し、1978年より「Sysmex（シスメックス）」という製品ブランドで医療用分析装置の開発・販売を手掛けてきました。1998年に製品ブランドを社名とした「シスメックス株式会社」が誕生。現在は、世界170ヶ国以上の国々の医療機関に向けて、血液分析や尿、免疫、生化学等の検体検査機器・試薬の製品・サービスを提供しています。



HIC開発部 第一グループ 課長
福田 和也様

HIC開発部 第一グループ 係長
勝見 宏則様

既存のビジネスや事業展開を越えた 新しいパートナーシップを築いていきたい

— T H K 製品を採用された経緯を 教えてください。

今回、先日発売された血液凝固測定装置の回転機構部分に、T H K さんの大口径ベアリングを採用させていただきました。新製品ですので、私どもとしても最新型に相応しい精度と処理スピードを追求していました。しかし、ユニットのレイアウト上のエリアがとても狭かったものですから、径は大きな物ながらコンパクトにしたいという希望もあり、市販品では今回私たちが求めていた性能とサイズを満たすベアリングは見つかりませんでした。

そんな折に、T H K さんの方で特殊製品やカスタマイズを扱われる開発部署があるとお聞きしたので、これ幸いとお相談させていただいたわけです。世界中の部品メーカーをあたって自分たちのニーズにマッチする製品がないという状況で、T H K さんには真摯かつ緻密にカスタマイズ対応していただけましたし、逆に私どもが悩んでいることに対してご提案もいただく等、非常に良い関係でプロジェクトを進めることが出来たと思います。

— 御社がサプライヤーに求めることは、 なんですか？

シスメックスは、医療機器、診断薬メーカーとしてさまざまな医療用機械と試薬を社会に対しご提供させていただいています。お客様にとって必要なデータを、より迅速に、より高精度に提供することが私たちの責任ですので、お取引先企業には製品寿命も含めて信頼性の高い製品の提供をお願いしています。

また私たちの扱う医療用計測器等は、自動車のように何万台という大きなロットで生産するものではありませんから、それを踏まえたコストのバランスや生産の調整等は、これからもお願いすることがあると思います。

今回のプロジェクトでは、最初に試作品を作っていただけですが、最初から完成度が高いものをご提案いただきまして、T H K さんの技術力の高さを率直に感じました。当社の方で耐久試験等を重ねる中で発生した問題についても、それに対する改善の提案が非常にスピーディーでしたし、電話やメールで済ますことなく、常に顔を付け合わせて両社で相談しながら進められたことも、パートナーとしての信頼感につながったと思います。

— 今後 T H K に期待することをお聞かせください。

我々は、メーカー各社さんから新商品についてはいろいろと紹介を受けるのですが、カスタマイズ等特別な対応が可能かどうか等については、あまり伺う機会がありません。新商品の紹介だけでなく、今回のようにビジネス領域や事業展開が変わった時や「ものづくり」に対して新たな取り組みを提供していただける場面があれば、ぜひそれをご紹介いただくと我々としても相談しやすくなります。勝手な思い込みではあるのですが、大手になればなるほど小回りのきくようなビジネスはしていないだろうと決めつけていることがあります。

また、東日本大震災を受けて多くのメーカーが感じたことだと思いますが、不測の事態が発生した場合でも製品を迅速に供給する体制づくりですね。検査機器がないために医療を受けられない患者さんが出てしまうことは、シスメックスとしてあってはならない事態ですので、T H K さんの非常時の対応力には、ぜひ期待させていただきたいと思っています。



全自動凝固測定装置 CS-5100